

3

水と親しむふれあい小路

こみち



DATA・BOARD ③

- ①山形県最上郡金山町大字金山地内
- ②延長：88m，幅員：4m，水路の幅1.1m
- ③水路，街灯，植栽
- ④自然石ほか
- ⑤コイの放流



地域住民から生活用水として親しまれ利用されてきた水路の「めがね堰」は、老朽化による漏水や石積みの崩壊が進んだため、昭和六十二年の町道の改修に合わせて、地域住民の憩いの場を創出する整備事業を行った。施工にあたっては、住民の創意を取り入れ、自然石を利用した割石積み工法を用いて、周辺の家並み景観を考慮して道路と水路の整備を行った。

地域では、維持管理団体が組織されており、水路の清掃やコイの放流などといった水辺環境の美化に努めている。また、沿道の家々では草花を育て、付近一帯は四季折々に潤いが創出され、安らぎの場として愛されている。

コイの放流にあたっては、地域の子供会も協力し、地域全体を取り込んだコミュニティ活動の一翼も担っている。